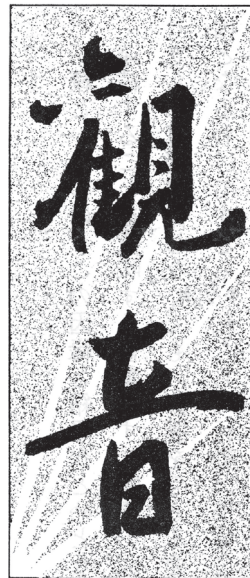




高野山参拝 (於 九度山 慈尊院) (H29・10・1~2)



平成30年
第52号

発行
 八ヶ所霊場 正観寺
 八幡所 祈願所
 新札 宗
 四番 真言
 二番 慈眼院
 十三番 山
 廣島 小島
 新出 真行
 三番 出 弘
 番 出 真
 真言 田 真
 宗 吉 真 覺

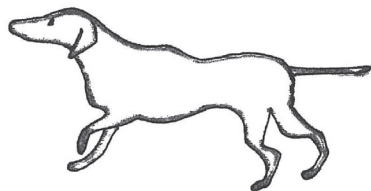
それ一千二百の草葉、七十二種の金丹は、身病を悲
 んで方を作り、一十二部の妙法、八万四千の経教は、
 心疾を哀んで訓を垂る。
 『三昧耶戒序』
 非常に大量な仏様の教えは、人間が心の病のためにいろいろと苦しんで
 いるのをみて、その人たちを救ってあげたいという、あわれみの心から生
 まれたものである。

心の貯金箱

私達が毎日生きて行くなかで、良い思い出や嫌な思い出、
 色々な思いが心の底に積もります。そのなかで、あなたに
 は人の為にしてあげた事で、喜ばれたという思い出があり
 ますでしょうか。

幾つかあると答えられるならば、あなたの人生はそのま
 まで仏道修行中です。反対に人に怨まれた思い出ばかりな
 んていう様でしたら、今日から生き直しです、再出発が必
 要かもしれません。自分の持っているものの中のお金や物
 だけでなく、気配りや、労力の奉仕、微笑でも優しい言葉
 でも縁のある人々に喜んで差し出し
 て下さい。

その仏心の実践の思い出を、心の
 貯金箱に積み立てて下さい。あなた
 の人生にかけがえのない宝が残りに
 ます。己れのみが良い思いをするため
 に、他人に苦しい思い出をせっせと積
 み立てさせるのは、鬼の貯金箱です。
 最近鬼の貯金箱を大切にしている
 恥ない人が増えています。そうなら
 ないためにも、沢山心の貯金箱を積
 み立てていきましょう。



お寺にいきまじょう

心になやみをもつたらお遍路に出まじょう。そこにはあ
 なたの知らない自分との出会いがあつて、心のわだかまり
 を解くカギを与えてくれるはずです。

自分の家に行くら錠をかけ鍵を掛けても守れない、釘付
 けにしてみても、はてはコンクリートで固めてもあなたの
 心の家は守ることはできません。一度グラリと地震がさま
 したならば、自分から大事なものも持たずに飛び出してし
 まうのです。

心を開き人に会ってはじめて、心の執着を解くことがで
 きます。

霊場の札所に立つて、静かに、一心に、意味はわからな
 くとも、般若心経をお唱えしながら心素直に合掌する時、
 だんだんと清められて行く私に気付くことでしょう。

心の修行の旅とは他でもございませぬ、手を合わせ心か
 ら仏様を礼拝することができたならば、心の目を開いて今
 日の生命の尊さに立ち返ることが出来ます。

何年も何事にも耐えて苦々々々として今日まで働いたあ
 なたに、一度お休みを与えてください。それは必ずや尊い
 人生の一步となり、心の悩みを静かに溶かしてくれる一日
 と成ることでしょう。

正観寺でも、今年度は石鎚山参拝(毎年恒年七月)・京
 都巡拝(九月末)の予定です。是非、心身のリフレッシュ・
 垢落しをしませんか？



霊峰石鎚山参拝 総勢21名 (H29. 7. 2~3)



観音大祭 (火渡り) (H29・3・12)



星祭り (H30・2・3)



地藏祭り御加持 (H29・8・20)

真言宗の勤行

①合掌礼拝 ②懺悔文 ③三帰 ④三竟 ⑤十善戒
 ⑥発菩提心(ほつぽたいしん) ⑦三摩耶戒(さんまやかい)
 ⑧開経偈 ⑨般若心経 ⑩本尊真言 ⑪十三仏真言
 ⑫光明真言 ⑬御宝号 ⑭祈願文 ⑮回向

真言宗の信仰生活は、供養と礼拝と言えます。仏壇はご本尊とご先祖を祀るだけではなく、家庭教育の要でもありますから、仏壇の荘厳に常に気を配らなければなりません。

勤行は、合掌と礼拝。特に真言宗は祈りの宗教ですから、三密行(身・口・意)がそのまま生かされる礼拝を行うことが大切です。数珠を扱う時には細かい作法がありますが、持つ時は両房を内側に、その時、記子(房の部分の珠)の珠が一つ多いほうを上にする。たたみ置く時も両房を内側にする。

焼香は、香炉に抹香を引き、その上に五種香を置く。線香の場合は三本立てる。

般若心経は、真言宗にとって大切なお経ですから在家信者の勤行の中心となります。

勤行を全て行う余裕の無い場合は、開経偈、般若心経、光明真言、大師宝号、回向を行います。

護摩祈願とは

一つには本尊さまに報恩感謝のため、
 二つには各家先祖諸霊供養のため、
 三つには自分の罪障を消滅し佛道を成ぜんがため、
 四つには人々の苦悩を滅し平和の日々招来のため、
 五つには一切法界に利益を廻向せんがため。

正観寺では、凡そ毎月十八日午前十時三十分より、護摩祈願をしています。昼食お接待お受けください。どなたさまも、いつからでもお参りください。(宗旨・宗派不問)

一粒のお米にも尊い生命

現代の生活を考える時、それは余りにも恵まれております。消費は美德という考え方は、家庭にも問題をもたらし、人間の「心」そのものが乱れつつあります。今世界の国々では満足に食事が出来ず飢えに苦しんでいる人達が数多くいます。このように考えれば、たとえ一粒のお米でも無駄には出来ません。

子供の頃、こぼした御飯の一粒でも粗末にすると目が潰れるぞよ、と父母に注意されました。お米は菩薩様といわれ人の尊い命を持続して行く大切な食物であります。曹洞宗宗祖道元禅師は粥といひ飯といひてはいけない、必ず「御粥」「御飯」と御の字をつけていわなければならぬ、とお示しになっています。

日常茶飯事といわれるように食事は毎日毎日のくり返しですから、つい面倒と考えがちですが、食事は家族の健康を作り、家族の団らんを中心とするものですから、いい加減な気持ちでは済まされないので。食欲が満たされただけが食事ではありません。食べものに対する感謝の気持ちで正しい食習慣を身につけ、心のこもった食事を家族が共にして頂きたいものです。

小さな棘

つま先に小さな棘が刺さっただけで人は痛みを覚え、しばしその痛みにうづく。

ちょっとした悪口も心に刺さる棘となり、痛みにうづく人の心を刺した人は知らない。



「本堂 納骨堂」について

新たに、本堂裏に納骨堂の確保をしました。



- ・宗派不問
- ・年間管理料不要
- ・生前予約可
- ・本堂の内陣裏にあり、ご本尊さまが近くにいらつしゃいます
- ・個別ロッカー式、広いスペース確保
- ・更新可
- ・お骨の数に制限無し
- ・永代供養有
- ・納骨法要を執り行いご供養いたします

「観音大祭」のご案内

正観寺 手づくり市 三月十一日(日) (十時〜十五時)

◎当日、全て手づくり(ハンドメイド品)が多々並びます!!

是非、お越しください。

(火渡りをし、福餅を拾い、ご利益を授かってください。)
お昼はお接待いたします。



観音大祭 手づくり市 (H29. 3. 12)

平成三十年度 年間行事予定表

六			五			四			三			二			一		
		十八			十八			十八	十八	中旬	十一			三			一〇三
		観音ご縁日・ <small>青葉祭り (弘法大師降誕会)</small>			観音ご縁日			観音ご縁日	春季彼岸会・永代合同供養祭	春季彼岸会 <small>(大柴燈護摩火渡り・福餅まき ご本尊供・土砂加持 手づくり市)</small>				星祭り (星供養節分会 北斗護摩祈祷)			修正会 (初護摩祈祷)
十二			十一			十			九			八			七		
	三十一	十八		二十一	一〇三十三		十八	一〇三十二	三十	十八	中旬	十九	十五	上旬		十八	一〇二
	年越祭 (除夜の鐘)	納観音ご縁日		弘法大師ご縁日	七五三祝祷		観音ご縁日	七五三祝祷	京都三弘法参り 真言宗十八本山巡礼	観音ご縁日・ <small>秋季彼岸会 永代合同供養祭</small>	秋季彼岸会参り	地藏祭り <small>(きゅうり加持祈祷・護摩祈祷 施餓鬼供養・演奏会)</small>	盆お参り 盂蘭盆会・永代合同供養祭 <small>うらばんえ</small>		観音ご縁日	霊峰石鎚山参拜	

《月例行事予定表》

- 一、御本尊「聖観世音菩薩」ご縁日
 「諸供養・諸祈願 (護摩祈祷)・昼食お接待有」
 ◎毎月 十八日 午前十時半～
 十八日が日曜・祭日の場合
 お大師さん「弘法大師」ご縁日
 二十一日 午前十時半～
※(二月・三月・八月) 除く
- 二、般若心経 写経教室 月一回程度
 第二木曜 午前十時半～十二時
- 三、高野山金剛流御詠歌教室 月二回程度
 平日昼間 午後十三時～十五時

- 一、七月一日(日)～二日(月)一泊二日
 『石鎚山参拜』費用三四、〇〇〇円予定
- 二、九月三十日(日)～十月一日(月)一泊二日
 『京都参拜』費用四〇、〇〇〇円予定

《随時受付中 (宗派不問)》

詳細はお寺までお問い合わせください。
 境内地墓地・本堂納骨堂・永代供養塔
 水子納骨堂・水子地藏尊
 正観寺会館 (葬儀会場) / (仏前結婚式会場)
 先祖供養・水子供養・永代供養
 護摩祈祷・厄除け・諸祈願・仏事全般等々
 随時本四国八十八ヶ所霊場お砂踏み可

〒七三五―〇〇二九
 広島県安芸郡府中町茂陰二丁目二八―一四
 TEL〇八二―二八二―五六六二
 FAX〇八二―二八五―五五三〇
 ホームページ **広島 正観寺 検索**
 ●新大州橋・イオンモール広島府中(旧ソレイユ)近く
 ○JR天神川駅下車徒歩七分
 ○バス停「新大州橋」府中大橋「下車徒歩三分
 (駐車場有り) **正観寺**